

# 平成17年度和歌山県立中学校適性検査作成の基本方針及び解答例

## 作成の基本方針

県立中学校の教育課程等の特色を踏まえ、その適性等をみるために、以下のア～エを作成の基本方針とする。

ア 小学校学習指導要領に基づき、作成する。

イ 小学校で学習した基礎的・基本的な内容をもとに、思考力、判断力、表現力等が身についているかどうかをみる。

ウ 日ごろから身近な事象に疑問や関心をもち、自ら解決しようとする意欲や課題解決能力が身についているかどうかをみる。

エ 科学的な見方や数学的な考え方が身についているかどうかをみる。

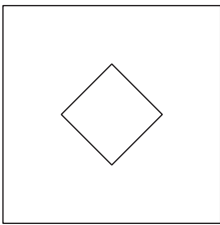
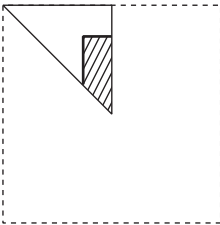
(適性検査 の解答例)

研究 1	課題 1	(例) 車や工場などから出たはく気ガスが雨やきりにとけこんでできる。																																																		
	課題 2	(例) 森林をからす。(コンクリートでできた建物をとがす。) など																																																		
研究 2	課 題	理由 (例) 日光がよくあたるか、あたらないかによって、成長にちがいが出た。 実験内容 (例) 同じくらいに育ったハウセンカのなえを 2 つ用意し、日光がよくあたる所とあたらない所に置き、同じ量の水と肥料をあたえる。1 ~ 2 週間後、成長の様子を比べる。																																																		
研究 3	課題 1	氷を入れた部屋 上の部屋 理由 冷やされた空気は下に下がるという性質を利用して、冷蔵庫全体を冷やすことができるから。																																																		
	課題 2	(例) 食料を長い間保存できるようになったので、人々は、一度に食料品などを大量に買うようになり、買い物に出かける回数が減った。また、氷や冷たい飲み物もいつでもすぐに手に入るようになるなど、生活が便利になった。(100字)																																																		
研究 4	課 題	(例) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td></td><td></td><td>9</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>5</td><td>1</td><td>2</td><td>8</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>4</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>6</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td></td><td></td><td>6</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>4</td><td>3</td><td>7</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>9</td><td></td><td></td></tr> </table> </div> <p style="text-align: right;">など</p>			9			7	5	1	2	8			4					3					6					6			8	4	3	7	2			5					1					9		
		9																																																		
7	5	1	2	8																																																
		4																																																		
		3																																																		
		6																																																		
		6																																																		
8	4	3	7	2																																																
		5																																																		
		1																																																		
		9																																																		
研究 5	課 題	(例) まず、10本のくぎを取り出し、はかりでその重さをはかる。次に、その60倍の重さになるまでくぎをはかりにのせる。																																																		
研究 6	課 題	記号 (イ) と (ウ) 選んだわけ (例) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>事務の仕事をしている人</th> <th>技 術 者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本 店</td> <td><math>45 \times \frac{40}{100} = 18</math>人</td> <td><math>20 \times \frac{35}{100} = 7</math>人</td> </tr> <tr> <td>支 店</td> <td><math>15 \times \frac{80}{100} = 12</math>人</td> <td><math>30 \times \frac{70}{100} = 21</math>人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>30人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>割 合</td> <td><math>30 \div 60 \times 100 = 50\%</math></td> <td><math>28 \div 50 \times 100 = 56\%</math></td> </tr> </tbody> </table> <p>上の表から、正しく述べているものは、(イ) と (ウ) である。</p>		事務の仕事をしている人	技 術 者	本 店	$45 \times \frac{40}{100} = 18$ 人	$20 \times \frac{35}{100} = 7$ 人	支 店	$15 \times \frac{80}{100} = 12$ 人	$30 \times \frac{70}{100} = 21$ 人	合 計	30人	28人	割 合	$30 \div 60 \times 100 = 50\%$	$28 \div 50 \times 100 = 56\%$																																			
	事務の仕事をしている人	技 術 者																																																		
本 店	$45 \times \frac{40}{100} = 18$ 人	$20 \times \frac{35}{100} = 7$ 人																																																		
支 店	$15 \times \frac{80}{100} = 12$ 人	$30 \times \frac{70}{100} = 21$ 人																																																		
合 計	30人	28人																																																		
割 合	$30 \div 60 \times 100 = 50\%$	$28 \div 50 \times 100 = 56\%$																																																		

研究7	課題1	(例)・工業や商業が発達している ・人口が集中している
	課題2	(例1) 考え 全体的に明るく写るのがよいと思う。 理由 東京、大阪などのような近代的な都市が多くなり、全国どこでも便利で豊かな生活ができるようになるから。  (例2) 考え 特定の地域が夜間まで明るいので、もう少し暗くてもよいと思う。 理由 エネルギー資源は人々の共通の財産であるので、もっと有効に使い、むだな明かりは消した方がよいと思うから。

(適性検査 の解答例)

研究1	課題	(例)・ミツバチは梅の花のみつをえることができる。 ・梅はミツバチに受粉を助けてもらい、実をたくさんつけることができる。
研究2	課題	
研究3	課題1	(例) お湯であたためられて、金属のふたのかさが大きくなり、しめつけが弱くなったから。
	課題2	(例) あたためられていたおわんの中の空気の温度が下がると、空気のかさが小さくろうとして、ふたを引きつけるから。

研究 4	課題 1																																																																																																
	課題 2																																																																																																
研究 5	課 題	(例 1)	(例 2)																																																																																														
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="3">行きの予定</th></tr> <tr><td>学 校</td><td>バ ス</td><td>B 駅</td></tr> <tr><td>9 : 00</td><td></td><td>9 : 06</td></tr> <tr><td>B 駅</td><td>電 車</td><td>A 駅</td></tr> <tr><td>9 : 11</td><td></td><td>9 : 21</td></tr> <tr><td>A 駅</td><td>徒 歩</td><td>博物館</td></tr> <tr><td>9 : 21</td><td></td><td>9 : 28</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>見学先</td><td>博 物 館</td></tr> <tr><td>見学時間</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>時間 5 分</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="3">帰りの予定</th></tr> <tr><td>博物館</td><td>徒 歩</td><td>A 駅</td></tr> <tr><td>11 : 33</td><td></td><td>11 : 40</td></tr> <tr><td>A 駅</td><td>電 車</td><td>B 駅</td></tr> <tr><td>11 : 40</td><td></td><td>11 : 50</td></tr> <tr><td>B 駅</td><td>バ ス</td><td>学 校</td></tr> <tr><td>11 : 50</td><td></td><td>11 : 56</td></tr> </table>	行きの予定			学 校	バ ス	B 駅	9 : 00		9 : 06	B 駅	電 車	A 駅	9 : 11		9 : 21	A 駅	徒 歩	博物館	9 : 21		9 : 28	見学先	博 物 館	見学時間		2	時間 5 分	帰りの予定			博物館	徒 歩	A 駅	11 : 33		11 : 40	A 駅	電 車	B 駅	11 : 40		11 : 50	B 駅	バ ス	学 校	11 : 50		11 : 56	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="3">行きの予定</th></tr> <tr><td>学 校</td><td>バ ス</td><td>D 駅</td></tr> <tr><td>9 : 00</td><td></td><td>9 : 12</td></tr> <tr><td>D 駅</td><td>電 車</td><td>E 駅</td></tr> <tr><td>9 : 13</td><td></td><td>9 : 21</td></tr> <tr><td>E 駅</td><td>徒 歩</td><td>動物園</td></tr> <tr><td>9 : 21</td><td></td><td>9 : 26</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>見学先</td><td>動 物 園</td></tr> <tr><td>見学時間</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>時間 9 分</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="3">帰りの予定</th></tr> <tr><td>動物園</td><td>徒 歩</td><td>E 駅</td></tr> <tr><td>11 : 35</td><td></td><td>11 : 40</td></tr> <tr><td>E 駅</td><td>電 車</td><td>D 駅</td></tr> <tr><td>11 : 40</td><td></td><td>11 : 48</td></tr> <tr><td>D 駅</td><td>バ ス</td><td>学 校</td></tr> <tr><td>11 : 48</td><td></td><td>12 : 00</td></tr> </table>	行きの予定			学 校	バ ス	D 駅	9 : 00		9 : 12	D 駅	電 車	E 駅	9 : 13		9 : 21	E 駅	徒 歩	動物園	9 : 21		9 : 26	見学先	動 物 園	見学時間		2	時間 9 分	帰りの予定			動物園	徒 歩	E 駅	11 : 35		11 : 40	E 駅	電 車	D 駅	11 : 40		11 : 48	D 駅	バ ス	学 校	11 : 48
行きの予定																																																																																																	
学 校	バ ス	B 駅																																																																																															
9 : 00		9 : 06																																																																																															
B 駅	電 車	A 駅																																																																																															
9 : 11		9 : 21																																																																																															
A 駅	徒 歩	博物館																																																																																															
9 : 21		9 : 28																																																																																															
見学先	博 物 館																																																																																																
見学時間																																																																																																	
2	時間 5 分																																																																																																
帰りの予定																																																																																																	
博物館	徒 歩	A 駅																																																																																															
11 : 33		11 : 40																																																																																															
A 駅	電 車	B 駅																																																																																															
11 : 40		11 : 50																																																																																															
B 駅	バ ス	学 校																																																																																															
11 : 50		11 : 56																																																																																															
行きの予定																																																																																																	
学 校	バ ス	D 駅																																																																																															
9 : 00		9 : 12																																																																																															
D 駅	電 車	E 駅																																																																																															
9 : 13		9 : 21																																																																																															
E 駅	徒 歩	動物園																																																																																															
9 : 21		9 : 26																																																																																															
見学先	動 物 園																																																																																																
見学時間																																																																																																	
2	時間 9 分																																																																																																
帰りの予定																																																																																																	
動物園	徒 歩	E 駅																																																																																															
11 : 35		11 : 40																																																																																															
E 駅	電 車	D 駅																																																																																															
11 : 40		11 : 48																																																																																															
D 駅	バ ス	学 校																																																																																															
11 : 48		12 : 00																																																																																															
研究 6	課題 1	(例) 矢印は、資源を再利用 (リサイクル) することを表し、文字はその種類を示している。																																																																																															
	課題 2	(例) ペットボトルのリサイクル量は1997年から年々増えている。一方でペットボトルの生産量も多くなり、リサイクルされないものもたくさんある。私は、限られた資源を大切に使って、地球環境を守るようにしていきたいと思う。(104字)																																																																																															